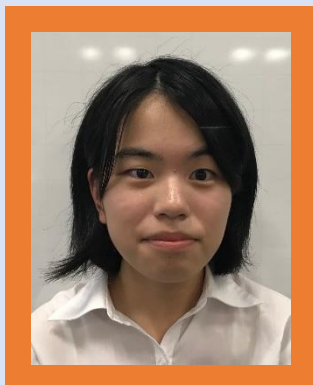


インターンシップ^o実習を終えて 2019年

今年、9月2日から13日までの2週間、インターンシップ生を受け入れました。

今年は、1名の大学三回生と2名の大学二回生の方が実習に来られ、社内業務・営業同行・研修のアシスタントなどを体験していただきました。また最終日には、ヒューマンラボの社員の前でのプレゼンテーションを行うという課題にも挑戦していただきました。



遠藤 優華

『インターンシップを通して学んだこと』

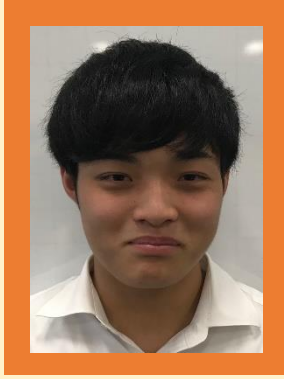
私は、インターンシップを経験させて頂き学んだ事が三つあります。一つ目は、マナーの大切さです。実習では、挨拶や名刺交換、電話対応などの仕方を一から教えて頂きました。特に名刺交換は初めてで、名刺の向きや手のそえ方、頂いた後の名刺の扱い方など、とても勉強になりました。また、教えて頂いた後に、実際に名刺交換を企業の方とさせて頂いたり、電話対応では社外からかかってきた電話をとらせて頂きました。すごく緊張したのですが、様々なマナーを教えて頂いたため気持ちを落ち着けて望むことができ、自信をもって行動に移すためにもマナーを知っておくことの大切さを学びました。

二つ目は、相手の気持ちを理解できるコミュニケーションの大切さです。この事については、インターンシップでの営業同行で学ばせて頂きました。営業同行では、実際に取引先の企業の方にお会いして、質問をさせて頂く貴重な機会を頂きました。その中で、コミュニケーションについてのお話を伺った際、営業同行に行かせて頂いた企業の方が総じて、コミュニケーションとは、積極的に意見を言えるだけではなく、相手の考えや立場を理解して意見を言えることだとおっしゃっていました。それまで私は、コミュニケーションといえば、はっきりと自分の意見を伝えられることが、大切だと思っていましたが、社会人となると色々な考えや立場の人と出会う事になるため、相手の気持ちを理解した上で、自分の気持ちを伝えられることが本当に大切なコミュニケーション力なのだ学ぶことができました。

三つ目は、困難なことに直面した際にポジティブにとらえることの大切さです。これは、実際にヒューマンラボが実施されているレジリエンス研修というものを受けさせて頂き学ぶことができました。レジリエンスというのは、困難に立ち向かう心の筋肉という意味だそうで、これから色々なことに挑戦し困難にぶつかる際に、ポジティブに立ち向かう事の大切さと、それをどうやったら実践できるのかというのを教えて頂きました。私は、困難に直面した際、すぐにネガティブな方向に考えてしまっていたのですが、この研修を受けて、自分の思い込みが余計に自分を生きづらくさせているという事に気づくことができました。また、困難な状況に陥った際に「それはちょうどいい」という言葉を唱えると、そのような状況でも前向きに乗り越えられる事も教えて頂き、今後の生活の中でとても役に立つ学びをさせて頂きました。

このようにインターンシップを通して、普段の大学生活ではなかなか学ぶことのできない貴重な学びをたくさんさせて頂きました。この学びを忘れずに、今後の学校生活や進路決定に役立てていきたいと思えます。





桐山 翔矢

『インターンシップを終えて』

今回、人生初のインターンシップに参加させていただきました。緊張して上手に話せなかったにも関わらず、皆さん温かく迎えてくださいました。初日の挨拶から始まり、レジリエンス研修、礼儀マナー、名刺交換の仕方、営業同行など、とても貴重な体験をさせていただきました。

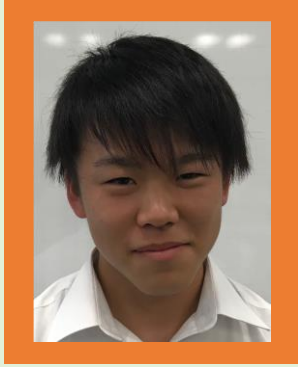
こうした貴重な体験を受けた中で、敬語や挨拶、礼儀マナーなど私が今までに知る範囲でのマナーは、社会人になるためにはまだまだ足りないことだらけだと、今回のインターンシップを通して気づくことができました。

私は、インターンシップ期間中、営業同行が一番貴重な体験だったと思います。株式会社ヒューマンラボの一員だという責任を持ち、他社に訪問するのは、会社の名を汚さないためにも社会人としての自覚を持つことが大事だと、一番感じることができました。働くことは社会人としての責任感を持つことが大切だと学ぶことができ、一步社会人に近づくことができました。

企業の方からも、ためになる話や、立派な社会人になるために必要な話をお聞きすることができ、インターンシップを通し、一番成長できたと思います。そして、学生のうちにしておくことも、営業同行を通して気づくことができました。それは視野を広げること、つまりいろんな人と関わりを持つことです。人にはそれぞれの考え方や価値観などが存在し、他人に関わることで自分とは違う価値観に気づくことができ、結果的に視野の拡大につながります。視野を広げること自分にはない考えを受け入れ、それが自分の成長につながると思います。社会人になるうえで他者との関係の大切さに気づくことができよかったです。

10 日間に及ぶインターンシップ期間、会社の皆様の優しくわかりやすい教えもあり、最終日を迎えた日には、自分の学んだことはしっかり自分のものになっていると自信を持つことができました。インターンシップで学んだことを忘れず、残り少ない学生生活を無駄にしないように学業に励みたいと思います。10 日間という短い時間でしたが、株式会社ヒューマンラボの一員になれてよかったです。ありがとうございました。





藤田 直斗

『様々な体験と自分の成長』

実習初日、はじめの挨拶のとき、私は緊張と不安で、企業の方々の前ではつきり話せなく、自信がない立ち振る舞いだったと思います。しかし、この二週間の実習で、様々な体験をさせていただき、マナーへの意識、働くことに対する考え方が変わりました。

このインターンシップに参加した目的は、まだ二回生の私は就職活動に向けて何も知らない状態で、何から始めていいのかわかりませんでした。その中でインターンシップに参加しようと思いました。そしてヒューマンラボの事業内容にもある「人材開発やキャリア開発のための教育、研修」というのを目にして、社会人に必要な事を学べると思い、お世話になることを決めました。

この実習では、電話対応、名刺交換、営業同行、ミーティング見学、レジリエンス研修などをさせていただきました。これらすべてが私には初めての経験で、きちんとこなせるのか不安でした。しかし、皆さんのやさしいアドバイス、丁寧な指導のおかげで徐々に慣れていき、自信をもってすることができました。会社のミーティングを実際に見たり、営業先に行って他企業の方と名刺交換をしてお話したり、企業の人間として電話に出たりすることは、普段の学校生活やバイトでは絶対に経験することができないことで、これから先の自分に生かせると思うので、とても良い経験だったと思います。

この実習を通して、私は働く上でのマナーや目標・目的を持つことの大切さを学びました。何か自分にとっての目標を持つことでそれが生きる意味になり、モチベーションになるので、よい人生に繋がることがわかりました。これまで私自身がなんとなく過ごしていたことにも気づくことができました。また、ヒューマンラボの社員の方々は私たちのことをよく見てくださっていて、私の持っている強みであったり、改善した方が良いことを指摘してくださったりして、私自身を客観的に見た時の評価や見え方を知ることができました。また、私自身も人の前で話すときにはっきり話せたり、挨拶の時の自分の行動の変化を実際に感じるすることができました。

このように数多くの体験や、自分の成長の実感といったことができたのは、ヒューマンラボで実習できたからだと思います。二週間本当にお世話になりました。ありがとうございました。





『デスクワーク』

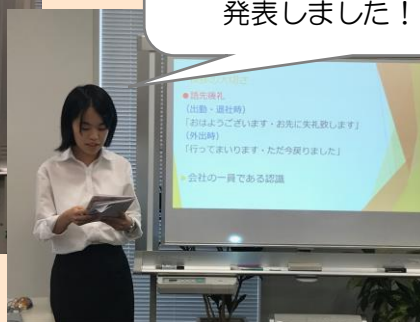
オフィスの席に座り、パソコンに向かってデスクワークも経験しました

3人で協力して、
プレゼンテーションの準備をしました



『最終日：プレゼンテーション』

緊張の中、2週間の成果を
発表しました！！



プレゼンテーションは
無事に終了しました！
2週間共に学んだ3人
で最後は笑顔の記念撮
影です。
「お疲れ様でした！」